

井の頭恩賜公園

よみがえれ!!井の頭池!

シンポジウム第二弾の開催について

～雨水浸透ますの設置を促進する方法を考える～

今年4月に、井の頭池を澄んだ水で満たしたいとの願いから、水環境の専門家や武蔵野、三鷹の両市長をパネリストとして水質浄化のシンポジウムを開催しました。そこで議論されたのは、井の頭池の水源涵養域内に雨水浸透ますを増設することで、地下水を豊富にし、湧き水を増やすことが大事であるということでした。

雨水浸透ますは、湧水の復活など水循環の役割だけでなく、水害を軽減したり、ヒートアイランド現象の緩和などのさまざまな効用から、日本各地で活用されています。

こうした取り組みについて学ぶとともに、井の頭池をよみがえらせるために、地域の住民、団体、企業、行政がそれぞれどのような役割を果たしていかなければならないかを考える、シンポジウム第二弾を開催します。

1 日 時 平成18年9月16日(土) 13時～15時50分(開場は12時30分より)

2 場 所 井の頭自然文化園 彫刻館
(交通) JR中央線、京王井の頭線「吉祥寺」駅 徒歩約10分

3 募集人員 150名(応募者多数の場合は抽選)

4 プログラム

～第1部～ 13時～14時45分(1時間45分)

《テーマ》 「雨水浸透ますの設置を促進する方法を考える」

(1) 基調講演(30分) 雨水浸透ます5万基設置・小金井方式への道
小金井市長 稲葉 孝彦

(2) 事例報告(15分) 横浜市 和泉川(宮沢・南瀬谷区)
水循環再生実行委員会

(3) パネルディスカッション(60分)

パネリスト 森岡 泰裕 国土交通省河川局河川環境課流域治水室長

忌部 正博 雨水貯留浸透技術協会常務理事

中嶋 文夫 東京吉祥寺ライオンズクラブ会長

糸井 守 神田川ネットワーク代表

コーディネーター 小口 健藏 東京都西部公園緑地事務所長



(前回のシンポジウムのような)

〔問い合わせ先〕

西部公園緑地事務所 庶務課 小久保・木川 電話 0422-47-0111

管理課 蕪山・谷口 電話 0422-47-1210

～第2部～ 15時～15時50分(50分)

- (1) 昔の井の頭池を語る 郷土史研究家 宮崎 勇 写真協力 土屋 恂(写真家)
(2) 井の頭池外来魚釣り結果報告ほか 小学生参加グループ代表

5 申込方法

平成18年8月23日(水)までに往復ハガキ〔当日消印有効〕に住所・氏名(ふりがな)・年令・電話番号を記入のうえ、下記あて先までお申込みください。(1枚につき2名まで応募可)

*なお、重複申込みは無効とします。

申込先 (郵送) 〒180-0005 武蔵野市御殿山1-17-59
西部公園緑地事務所内
井の頭恩賜公園100年実行委員会 「よみがえれ!!井の頭池!」係

『個人情報の取扱いについて』

お申込みの際に頂いた個人情報について、当募集以外に使用しないものとし、その保護について万全を期してまいります。

6 参 考 【井の頭恩賜公園、井の頭池】



井の頭恩賜公園は、大正2年に御下賜され、日本最初の郊外公園として計画決定され、計画的に整備された公園です。

公園の中央に位置する井の頭池は、初めて江戸にひかれた水道、神田上水道の水源で、明治31年「改良水道」ができるまで、重要な役割を果たしていました。

池の周囲には約400本のソメイヨシノが、水面に枝を広げて咲き誇り、桜の名所となっています。

園内は、井の頭池のほか武蔵野の面影を残す雑木林・自然文化園のある御殿山、運動施設のある西園があり多くの市民の憩いの場となっています。

「^{おんし}恩賜」・・・天皇から賜ること。